

母屋に向かって開いたLDKには、4mのフルオープン  
の建具を採用。ダイニングから連続するデッキは室内外を緩やかにつなぐとともに、アウトドアリビングとしても活躍します。

外を内に  
取り込む  
間取り  
3

東京都・N邸  
設計=田口知子 / 田口知子建築設計事務所  
家族構成: 夫婦+子供2人  
敷地面積: 89.1㎡ (約27坪)  
延床面積: 70.3㎡ (約21坪)

# 母屋とつながる中庭に 親子3世代が集う 陽だまりのある家

091 MYHOME+



2階から1階を見下ろすと、ダイニング、リビング、ワークスペースが連続しつつも、「食べる場所」「くつろぐ場所」などとして緩やかに分節されていることが良く分かります。



白と茶をベースにしながら、ご主人こだわりのオレンジ色の壁や、ワークスペースのいすに愛らしい色を用いることで、心地良さの中にも遊び心あふれる生活空間が誕生。

隣家が迫る南側に配したリビングは、小ぶりのスペースながら上部の開口を通して視線の抜けを確保。家族そろってくつろげるよう、落ち着いた空間に仕上げています。





ダイニングとキッチンがL字型に配置。ひと続きのオープンなプランでも、キッチンをほどよく隠すことで、不意な来客時も片付けなどに慌てることなく対応できます。

外を内に  
取り込む  
間取り

3

## 家族の会話を弾ませる 遊び心あふれた色づかい

### 親子3世代の交流を育み 陽だまりをつくる中庭

デッキテラスとLDKが連続してつながり、室内外が見事に溶け合うNさんご夫妻の住まい。爽やかな光と風が室内へと注ぎ込み、季節の移り変わりを五感で感じることが出来ます。周囲からは鳥のさえずりが聞こえ、穏やかな時間が空間を包み込みます。

都心から程近い郊外の住宅街にありながら、贅沢なまでに自然との一体感を生み出しているものこそ、デッキテラスの先に広がる中庭。実はこの中庭は、敷地の北側に建つご両親の母屋との関係性と、周囲を隣家に囲まれた厳しい敷地条件をクリアするために計画されたものでした。

ご夫妻は以前、母屋の敷地の一角にあった古家にお住まいでしたが、日当たりが十分でないことへの不満と、建物自体の老朽化により建て替えを決心。「いつも日の光を感じられる家にしたい」と建築家の田口知子さんに設計を依頼しました。そこで田口さんが導き出したのが、2世帯の間に「陽だまり」となる中庭をつくり、デッキテラスを介してLDKと連続させる間取り。母屋に接する中庭はプライベート性が高いため、中庭に面して大胆な全面開口を設け、開放感あふれる住空間を実現させました。「中庭は2世帯をほどよくつなぎ、親子3世代の交流の場としても機能します」と田口さん。9歳と6歳の仲良し兄妹は頻繁に母屋との行き来をしているそうです。

2階にはルーフトラスに隣接するサニールームと浴室を設置。半階下のプレイルームに光を届ける役目も果たしています。さらに冬場の寒さ対策として1階の床下に輻射熱式暖房機を設け、床下を循環した温かい空気で家全体を温めるよう配慮。夏場は、下階から上階へと抜ける風で、自然な涼しさを生み出しています。

「近所の方も子供の友達も、親しい人たちは皆、中庭を通って直接リビングに入ってきます。中庭は自然の光と風を導いてくれるだけでなく、さまざまな人たちを迎え入れる、わが家の大切な空間です」と奥様。屋外を取り込んだ住まいが暮らしに大きな楽しみをもたらすことを、N邸は物語っています。

中庭を挟み、親世帯とほどよくつながっています。ご家族の自然な交流を育む中庭は、両世帯に光を届ける「陽だまり」としても大活躍。





ルーフテラスに隣接し、サンルームとしても機能する洗面室は、雨天時の洗濯物干し場としても機能します。白とブルーの配色が美しい洗面カウンターは奥様のお気に入り。



ルーフテラスに向かって大きく開いた浴室は、開放感たっぷり。サンルームを兼ねた洗面室との仕切りにガラスを用いて空間の連続性を高め、広がりも得ています。

外を内に  
取り込む  
間取り

3

## 優しい光と爽やかな風が 家族の時間を優しく見守る



LDKから1段上がったワークスペースは、兄妹が勉強や読書を楽しむ場として、またご夫妻のパソコンコーナーとして利用。折り返しの階段室に沿って視線は上階へ導かれます。

周囲を隣家に囲まれているため、敷地の東側にアプローチを設けて玄関を配置しました。小さなスペースですが、飛び石や砂利を用いて「誘い」の演出を施しています。



MY HOME 094

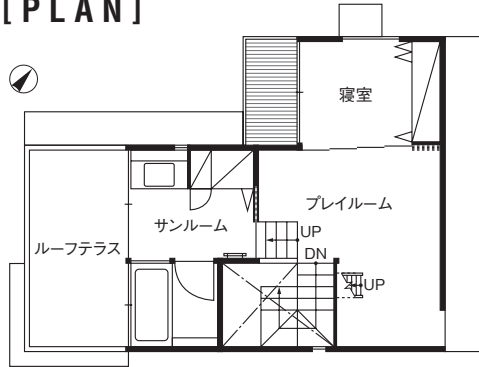


### 家族の成長に合わせて変化する フレキシブルな間取りで快適に

将来は子供室となる2階のプレイルーム。お子さんたちの成長に合わせて2部屋に仕切る予定です。引き戸の先は主寝室。階段の奥はサンルーム兼洗面室と浴室が続きます。

2F

### [PLAN]



### コンパクトにまとめて 機能的な家事動線を確保

ダイニングとL字につながるキッチンですが、直線カウンターで効率の良い家事動線を確保。コンロなどは壁に隠れているためリビングやダイニングから直接見ることがなく、雑多になりがちな部分を上手に隠せて便利です。



### DATA

所在地：東京都  
家族構成：夫婦+子供2人  
構造規模：木造、地上2階  
敷地面積：89.1㎡  
延床面積：70.3㎡  
1階床面積：41.32㎡  
2階床面積：29.04㎡  
用途地域：第1種低層住居専用地域  
(建ぺい率50%、容積率80%)  
設計期間：2007年2月～2007年10月  
工事期間：2007年10月～2008年6月  
施工：小山工務店

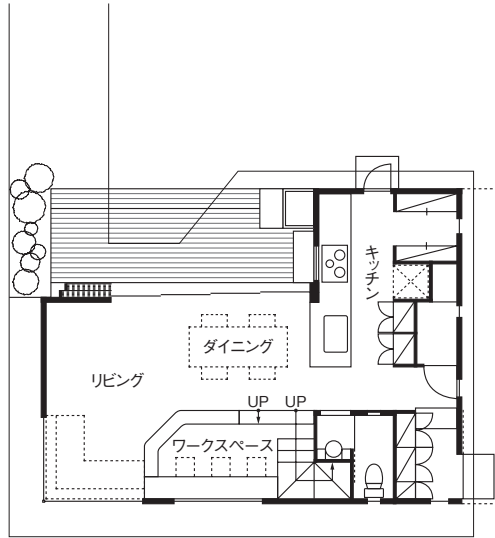
### FINISHES

●外部仕上げ  
屋根：ガルバリウム鋼板縦ハセ葺き  
外壁：ガルバリウム鋼板縦ハセ葺き  
●内部仕上げ  
LDK、ワークスペース、プレイルーム/  
床：オーク無垢フローリング  
植物オイル塗り  
壁：ビニルクロス張り+AEP塗装  
天井：ビニルクロス張り  
寝室/  
床：無垢フローリング 植物オイル塗り  
壁・天井：ビニルクロス張り  
洗面室、サンルーム/  
床：ビニルタイル  
壁・天井：ビニルクロス張り  
浴室/  
床：ハーフユニットバス  
壁：化粧ケイカル板  
天井：ケイカル板+AEP塗装  
●主な設備機器メーカー  
キッチン：オリジナル造作家具  
サンタリー機器：松下電工  
照明器具：louis poulsenほか

### ARCHITECT

田口知子 / 田口知子建築設計事務所

1F



### 大開口と中庭で得る 屋外の空気と開放感

中庭から室内を見ると、室内外の連続性が際立ちます。「限られた面積では、屋外を上手に取り込むことがポイント。光など自然の豊かさや開放感を得ることができ、暮らしの楽しみが増えるのです」と田口さん。



### 限られた空間を心地良くする 緩やかに分節された間取り

LDKとワークスペースで構成された1階は、ひと続きのワンルーム空間。限られた面積ゆえに腰壁やコーナー、床の段差などを用いて、それぞれの場所を分節しました。

### 外を取り込む間取りのポイント

### 世帯間をほどよくつなぎ 光と広がりを得る中庭

母屋の敷地の一角に建っていた古家を建て替えたN邸。敷地を道路に接道させるよう旗竿状に分割し、母屋との間に中庭を設けて2世帯をほどよくつなぎました。リビング・ダイニングは4mのフルオープンな開口で中庭へと開き、光と風と伸びやかさを確保。限られた面積ゆえに、室内は腰壁や床の段差を用いて緩やかに分節しました。「ひと続きの空間の中で食べる場所、くつろぐ場所などの性格付けをすると、視覚的な広がりや心地良さが生まれるのです」と田口さん。